

風化させないで

具体化していきたい

前略
先日、神戸市職労長田支部を通して長田
区長並びに長田支部長の連名で、お礼のお

言葉をいただくとともに「人・街・ながた
震災資料室」への文献、資料の提出要請を
うけた者です。



え 内海聖子

私たちは95年3月初めに長田区長楽小
で、自治労ボランティアとして救援活動に
たずさわることができ、貴重な経験をさせ
ていただきました。東京に帰って今度は自
分たちの問題として防災問題に取り組ん
でいますが、学校避難所での活動は重要な教
訓として具体的な施策として我が葛飾区で
も結実するに至っております。
例えば、各学校に今までの防災用品だけで
なく避難所設置の用品・備品・機材を備蓄
する部屋ができました。又、無線FAX・
通信機材の学校への設置や、避難所設置マ
ニアルの作成と序々に整いつつあります。
今後とも長楽小学校等での救援活動を単
なる思い出として風化させないで、自分たち
の問題として、もっと具体化させていき
たいと思っております。

同封しました報告書は、私が長楽小学校
での救援活動後、記憶を風化させないで、
こちらの人々に伝えたいと思つてまとめた
ものです。直後にまとめたもので、不十分
な点・不正確な点もあるかと思いますが、
率直な気持ち、見たままのことを記述
したものでして、何かの参考にしていただ
ければ幸いです。

長楽小学校で活動したボランティアの皆
様、教頭先生に宜しくお伝えください。
皆様のご健闘を遠方より祈っております。

人・街・ながた震災資料室様

東京都葛飾区職労
富士 八郎

人・街・ながた

震災資料室だより

人・街・ながた
震災資料室 発行
〒653 神戸市長田区北町3-4-13
電話(078)579-2311
発行人/寿 広文
編集人/武川・福谷

準備号

もくじ

- 1 資料提供のお願い
- 2 スタッフ募集
- 3 催しのお知らせ
- 4 寄稿

阪神・淡路大震災に関する

「長田区関係資料」の提供について お願い

平成七年一月十七日(火曜日)午前五時
四六分、神戸の街は「震度七」の激震に見
舞われ、一瞬にして崩壊した。長田区では
同時に各地で火災が発生し「炎」は瞬くう
ちに建物、人命をなめつくした。
犠牲者 九〇六名、全焼 四七五九棟、
家屋の全半壊 約二万四千戸にも及び、な
がたの街は壊滅的な打撃を受けた。

以来、私たち長田区役所職員は震災関
連業務に従事してきました。今まで経験し
たことのない「場」で皆様がた行政機関を
はじめ、関係機関、自治労、ボランティア
企業、各種団体等からの積極的なご支援を
いただき、また実際に現場で日夜業務に従
事された一人一人の方々には、献身的なご
尽力をたまわりました。お陰様で、空前の

業務量をやり遂げることができました。あ
らためて、心から厚くお礼申し上げます。
非常時の際は、「人と人が支えあう」こと
が大切であることを実感しました。
震災から一年十ヶ月が過ぎ、ながたの
街は復興へ向けて長い道のりを歩みだして
います。私たちは、今回の貴重な体験を風
化させないため、職員記録誌「ひと・街・
ながた」を一九九六、一、十七に発行しま
した。そして、被災地の中の長田区役所に
職員のボランティアによる「人・街・なが
た震災資料室」を設け、震災の状況を長く
記憶し、一般に公開するとともに後世に継
承していきたいと考えています。

つきましては、何かとご多用のところ
恐縮ですが、長田区に関する「阪神・淡路
大震災関係資料」文書、写真、ビデオカセッ
ト、報告書等できるだけ生のものを左記の
ところまでご提供いただきますよう、お願
い申し上げます。 事務局 寿 広文
送付先

〒六五三 神戸市長田区北町3-4-13

「人・街・ながた震災資料室」 長田区役所内

TEL 078-579-2311

被災地に咲いた ギンバヒマワリ



記録すること

長田区市民部長

湊 照夫

最近地震の直前予知は難しいのではないかと云われている。北京ではばく蝶の影響がアメリカの天気に影響すると云われている。予知が難しいのと同様に、起こった事柄の把握というの実は非常に難しいことである。一人一人の知っている事実はその一人の経験でしかなく、しかも時間がたつとともに記憶は変化する。まして今回の

新長田図書館・満1歳

渡辺 節子

観音山公園のふもとにあった旧長田図書館が、新築移転のため閉館し、名称も新たに『新長田図書館』として開館して丸一年を迎えようとしています。
震災後、長田区の人口は大幅に減少し、図書館の周囲は更地のままの所が多い、そんな状況の中で生活再建のために努力しておられる市民の方々の足が図書館へ向くのかどうか、半信半疑ではありましたが、しかし、いざ開館してみると、新しい顔の

震災のような多面的な事柄の全体像を把握するのは大変なことである。その一つの例が震災関連のマスコミの報道にみられた。一人の記者の見方と一つの断面だけをとらえて映像化された報道に対する違和感を誰しも当時感じたのではないかと思う。
今回の長田区震災関係資料は震災当時現場にいた立場で、しかもその体感が残っている間に出来るだけの資料を収集しようとするもので、記録の仕方としては最も望ましい方法である。時期的にも体験した職員の大半が残っているこの時期あたりが限界で成果を期待したいものである。

中に以前の利用者を懐かしく見出しでは、眼の奥がじんと熱くなったのが、昨日のことのようです。

当館では、一般図書・新聞・雑誌のほか、「デザイン・街」をテーマにして図書を収集した「わが街再発見コーナー」、また、韓国・朝鮮に関する図書や新聞・雑誌・ビデオテープ等を備えた「韓国・朝鮮図書コーナー」を設け、地域に根ざした図書館作りをめざしています。

最近よく読まれているのは、「脳内革命 1、2」「神々の指紋上、下」「弟」等です。

みなさんのご来館を、お待ちしております。

こころ咲かそうコンサート

日時：11月30日(土) 午後2時～3時30分

場所：長田コミュニティセンターホール(長田消防署4階)

入場料：無料

出演者：第1部 城加山/イズ夢有無(津田氏のオーケストラ)

第2部 BORO "大阪で生まれた女"でお馴染みのシンガーソングライターです

応募方法：往復はがきに、住所・氏名・年齢・職業・電話番号・人数記入のうえ下記まで。先着順 定員200名

〒653 神戸市長田区北町3-4-3 長田区役所3階
長田ボランティアセンター Tel 574-2408

募集中

資料室だより 事務局 会計
共同出版・清水・武川・福谷 寿 広文 飯塚 武嗣

住之江区
カメラマン
海外
市民
神戸市
他都市
他支部
自治労
旧避難所
学校

梅田地本
小寺熊原茂山(谷口)
内藤斐菊池飯塚米田
森井寿阪田鬼本
津村並河福崎川崎中島
清水武川福谷松原
森赤尾安喜藤岡

企画会議は
各セクションの
代表者で構成

震災資料室運営協議会

区側 市民部長・まちづくり推進課長
総務課長・庶務係長

支部側 支部長・副支部長・書記長

みなさんの参加を
お待ちしております。

震災二周年にあたる来年一月十七日に「人・街・ながた震災資料室」がスタートします。

この資料室は長田区職員が中心になってボランティアで運営し、区役所と職員労働組合はこれをバックアップします。

当面は六つの班に分かれて資料収集等を始めていきます。

避難所班では当時避難所であった八十ヶ所の学校や各種施設へお願いに行き、記録集や食事メモ等について調べていきます。

他都市や自治労の班は応援に来てくれた方々の手記等の提供もお願いすることになります。

何よりも長田区民の方々が沢山のビデオや写真を撮っておられるので広報紙等で協力の呼びかけをしていきたいところです。そして、提供してくださった資料はパソコンでデータ管理をしていきます。

ぜひ、あなたの参加をお待ちしています。